

学習課題(小学校4年生)



【社会】

◆これまでの学習について取組シートなどをもとにふり返りましょう。

(1) 下の古くから受けつがれている建物やお祭りは、北海道のどのまちのものでしょうか。持っているしりょうなどで調べ、線で結びましょう。

- | | | | |
|----------|---|---|------|
| 札幌市時計台 | ・ | ・ | 函館市 |
| 赤レンガ倉庫 | ・ | ・ | 札幌市 |
| 姥神大神宮渡御祭 | ・ | ・ | 江差町 |
| 寒中みそぎ祭り | ・ | ・ | 木古内町 |



(2) 下の()にあてはまる言葉を からえらび、書きこみましょう。

「アイヌ民族の昔のくらしと今につながる文化」

- ・アイヌ民族は、山や海・川・木や草、けものや鳥・魚、人間がつくった道具など、身近ないろいろなものを(①)と考えることができました。
- ・アイヌ民族は、木の皮から糸をとり、(②)という着物をつくりました。このほか、動物の毛皮などを使った着物もありました。
- ・昔のアイヌ民族は、川の近くや海辺に集まって住み(③)とよばれる集落をつくっていました。



コタン 神 アットウシ ムックリ

「わたしたちの北海道をひらいた人々」

- ・明治時代、機械を動かす電気をつくったり、蒸気機関車を動かしたりするために、北海道の空知地方でとれるしつの良い(①)を小樽港から全国におくることになりました。
- ・廣井勇がつくった防波堤によって、全国や(②)とのやりとりがますますさかんになりました。小樽には銀行や、船で物を運んだり、商売したりする(③)が集まるようになりました。



大きな波 石炭 世界 会社 コンクリート

「風水害からくらしを守る」

- ・札幌市では、川に(①)をつくり、水があふれないようにしたり、洪水がせまったときはテレビやラジオ、市のホームページや(②)などで市民に危険と避難の必要性を知らせたりしています。
- ・札幌市では、住民、警察や消防、(③)などが参加する総合防災訓練を行っています。
- ・地域の自主防災組織では、日ごろから消火用ばけつやたんか、救急セットなどを使って、(④)訓練や応急手当こうしゅうなどを行っています。



緊急速報メール ダム ていぼう 自衛隊 防災 避難

「大雪からくらしを守る」

- ・ふり積もった道路の雪を道路わきによせる作業を(①)といいます。ひとばんに1台の機械で(②) kmほどのきよりをじよ雪します。
- ・道路わきに積み上がった雪をトラックに積んで雪たい積場に運ぶ作業を(③)といいます。はい雪した雪はひと冬に札幌ドーム約(④) はい分にもなります。
- ・じよ雪センターで働く人たちは、(⑤) 時間交代しながら仕事をします。夜中12時にはじよ雪作業を始め、(⑥)、会社や学校へ行く時こくには作業を終えます。



はい雪 じよ雪 100 10 13 24 昼 朝

(3) 北海道には179の市町村があります。3学期の学習でも、たくさんのまちが出てきます。以下のまちは白地図の中の㊶～㊿のうち、どこでしょう。地図帳で調べ、白地図に書きこみましょう。

- ① 札幌市 ② 旭川市 ③ 函館市
 ④ 釧路市 ⑤ おとねっぶ音威子府村

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・2学期の学習のまとめとして出題しています。学習したことを振り返るとともに、自分たちの生活とのつながりを考えることで、確かな力として定着します。

ほっかいどうちほう
白地図（北海道地方）

名前

